

ラジオ FM 放送帯 + TV 1 ~ 3 チャンネル帯
手軽に製作して電波を送信！

FM ワイヤレスマイク

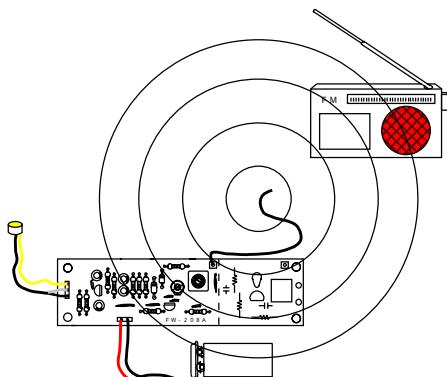
[キット]
FW - 208

Y63-////// CODE1055-160 改訂第6版 981210 //Y

概要

手軽に作って楽しめる FM ワイヤレスマイクのキットです。

市販の FM ラジオ (76 ~ 108 MHz) にマイクの音を送信する事ができます。



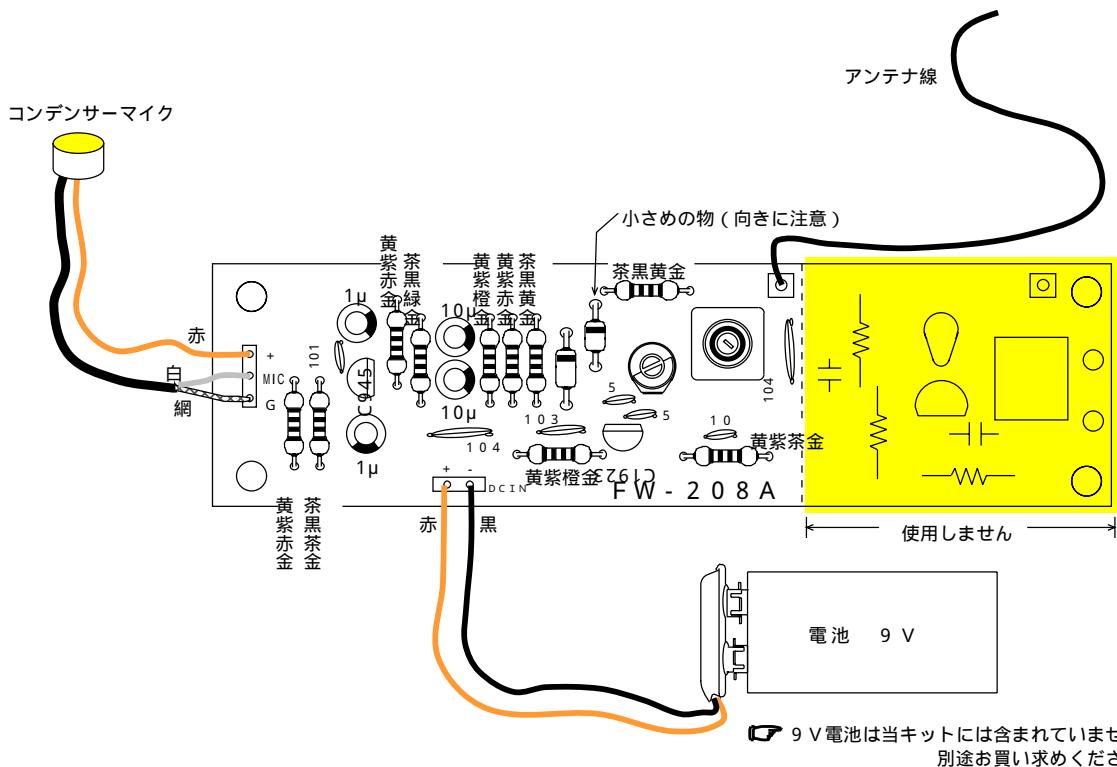
仕様

電源電圧	標準 DC 9 V (006P型電池) (DC 6 ~ 9 V可)
動作時電流	約 5 mA
入力	付属コンデンサーマイク (直径 9.3 mm 無指向性)
出力	
周波数範囲	76 ~ 108 MHz (ラジオ FM 放送 + TV 1 ~ 3 チャンネル)
変調方式	FM (周波数変調)
到達距離	実用 40 ~ 60 m 見通し良好の条件のいい状態で最大約 100 m
電波の到達距離は「ラジオの感度」「障害物の有無」「アンテナの状態」で大きく変化します。	
動作時間 (マンガン 006P 使用時)	約 70 H
電池の状態は使用環境によって大きく左右されます。 時間は目安であり、保証値ではありません。	
基板サイズ	W 92 D 26.5 H 15 mm
付属ケース	なし (ケース対応なし)



4 900474 010559

組立参考図



パートチェック

パーティリストでパーツをチェックしてください。
パーティリストは、組立リストを兼ねています。
リスト中の_____にチェックを入れましょう。
左側はパートチェック用、右側は組立チェック用です。

組立

パーツの取り付けは組立参考図やパーティリストを見ながら番号順に行ってください。
パーツは無理のない範囲で基板に当たるまで、きちんと差込、ハンダ付けしてください。

抵抗・ジャンパー

1 / 4 W

R K	4 . 7 K (黄紫赤金)
R 1	1 M (茶黒緑金)
R 2	4 . 7 K (黄紫赤金)
R 3	1 0 0 (茶黒茶金)
R 4	4 7 K (黄紫橙金)
R 5	4 . 7 K (黄紫赤金)
R 6	1 0 0 K (茶黒黃金)
R 7	4 7 K (黄紫橙金)
R 8	4 7 0 (黄紫茶金)
R 12	1 0 0 K (茶黒黃金)

R 9 , 10 , 11 は必要ありません

取付方向なし
まっすぐに
差し込む



ダイオード

D 1 ダイオード
(ちょっと小さめの物)



D 2 ツエナダイオード
(数字が書いています)



セラミックコンデンサ

C S	1 0 1 (1 0 0 pF)
C 4	5 (5 pF)
C 6	5 (5 pF)
C 7	1 0 (1 0 pF)
C 5	1 0 3 (0 . 0 1 μF)

極性なし
まっすぐに
差し込む



トリマコンデンサ

T C 1 青 (2 0 pF)



セラミックコンデンサ

C 8	1 0 4 (0 . 1 μF)
C 9	1 0 4 (0 . 1 μF)

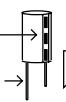
極性なし
まっすぐに
差し込む



電解コンデンサー

C 1	1 μF
C 2	1 μF
C 3	1 0 μF
C 10	1 0 μF

- の印
足の
長い方が +



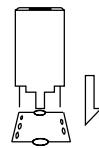
トランジスタ

Q 1 C 9 4 5
Q 2 C 1 9 2 3

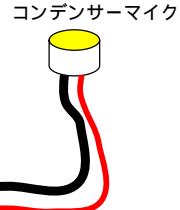
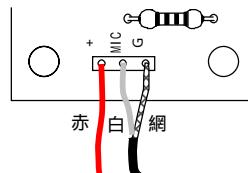


コイル
T 1 1 4 4

穴にあわせて
まっすぐに差し込む

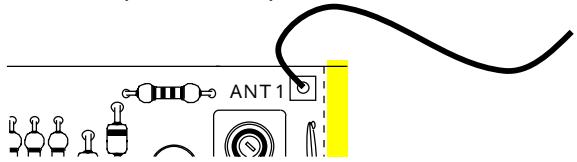


コンデンサマイク
* * *



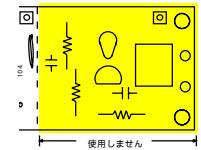
アンテナ線

ANT 1 (付属ビニール線)



下記の箇所は使用しません

R 9 , R 10 , R 11
C 11 , C 12
T C 2 , T 2 , A N T 2
' + ' 「 - 」端子



ケースに組み込む場合は、動作試験の後に行なってください。

最後に基板全体を見て部品の取り付けが間違っていないか
どうか、また、ハンダ付け不良や、ショートがないかどう
かを良くチェックしてください。

動作チェック

用意する物

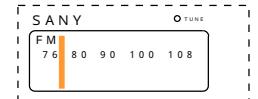
F M放送の受信できるラジオ

「 - 」のドライバー (小さい物)

電池 0 0 6 P型 9 V または 電源 D C 9 V

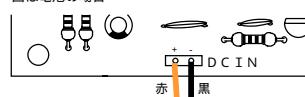
△ 電源を投入する前に基板の下に金属物がない事を、よく確認して
ください。 (ショートにより製品を破損する原因になります。)

ラジオのチューナーを、 F M放送の周波数 (7 6 ~ 7 8 MHz) の放
送のない所に合わせてください。

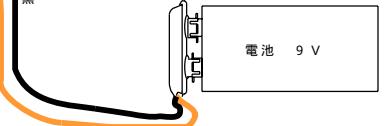


当キットをラジオの近くに置き、電源 (電池) を接続してください。
(+ , - を間違えないように注意 !)

図は電池の場合



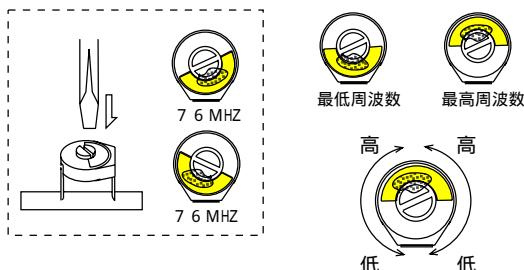
電池は当キットに付属し
ていません。別途お買いい
求めください。



トリマコンデンサ（T C 1）をドライバでゆっくり回してください。

- ・ヘッドホンで聞いている場合
「マイクを触るとガサガサと音がします」
- ・スピーカーを鳴らしている場合
「ピーというハウリング音が鳴ります。」

何度調整しても、うまく行かない時は、電源を取り外し、1ページの「組立参考図」を参考にパーツの向きや値が間違っていないか、ハンダ付け不良（別紙「正しいハンダ付けの仕方」を参照）がないかよく確認してください。



マイクの音が最もよく聞こえるようにラジオのチューナーを微調整してください。

使い方

- ・調整が終わった後は、プラスチックケースなどに納めると使いやすくなります。
- ・送信周波数を変える場合は「動作チェック」の方法で調整してください。
- ・混信防止のため、ラジオ放送のある周波数の付近には合わせないようにしてください。

回路図



取り扱い上の注意

使用しない時は電池や電源を取り外しておいてください。

周辺の温度が変化する事で周波数が動くことがあります。

アンテナを必要以上に長くしたり、外部アンテナ等を接続しないでください。（法律に触れる事があります。）

その他、送信出力を大きくする改造等は決して行わないでください。（法律に触れる事があります。）



<http://www.kyohritsu.com/WONDERKIT/>

動作しない時は

電源・配線接続・ハンダ付けが正しく行われているか、もう一度チェックしてください。

電池使用の場合は新品に一度交換して試してください

どうしてもわからない場合は、現在の症状を明記の上、別紙「修理の案内」の手順で修理依頼をしてください。



ワンダーキットの商品がインターネットで購入できます。

新商品情報やディバイス情報も掲載！

<http://www.kyohritsu.com/WONDERKIT/>

△電波の送信出力アップに関する事には一切お答えできません。ご了承ください。

□ 当キットの規格以外の使い方や改造の仕方についての御質問はご遠慮下さい。
規格以外の使い方や改造による不動作、部品の破壊等の損害については一切補償致しかねます。
当キットについての、ご質問は質問事項、明記の上「封書」または「FAX」でお願いします。お電話ではお答いたしかねます。（内容によっては回答に時間がかかる場合があります。）
[FAX 06 6644 4448]



ワンダーキット®

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-5-1
TEL (06) 6644-4447 (代)
FAX (06) 6644-4448